事業所名	こども支援ルーム　コクーン　フォルテ	**支援プログラム**	作成日	2025 年	3 月	28 日

法人（事業所）理念	児童憲章の精神に則り、すべての児童、その家族、ならびに支えるスタッフが心身ともに健やかに育ち、しあわせに生活することをサポートします。				
支援方針	あそびや運動を通して身体を育て、その上に積みあがる「ことば」「まなび」が育つように、マンツーマンでの活動及びグループワークを実施します。 すきな活動から始めることで「やりたい」という思い（自発性）を引きだし、挑戦と成功をくりかえすことで、自信を伸ばします。				
営業時間	9 時　0 分から　18 時　0 分まで		送迎実施の有無	必要に応じて、事業所の所有する車両により、自宅と事業所との間、又は学校から事業所までの送迎を行います。	

		支　援　内　容	具体例
本人支援	健康・生活	健康の維持・改善、基本的生活スキルの獲得を目指します。 児の特性に配慮し、時間・空間をわかりやすくします。	自分の身体を知る　性教育　トイレサポート 今日の健康状態チェック　生活動作全般 保護者からの生活状況の聞き取りと対策相談
	運動・感覚	日常生活に必要な、姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を目指します。 日常生活動作や、そこに繋がる、粗大な動き、微細な動き、応用的な運動など苦手な動きができるよう支援します。 感覚あそびを通して、たのしみながら、からだを育てます。 過敏さや鈍麻、苦手な感覚に対して活動の中でアプローチします。 学習につながる身体全体の使い方、目の使い方などに取り組み学習に取り組みやすくなるよう支援します。	粗大運動：サーキット（就学前対象、就学児）大縄跳び、バドミントン、野球、大根抜きゲーム　体幹強化、ストレッチなどの体操 手先　：クッキーづくり等調理活動　迷路　塗り絵　ビーズ　ブロック　紐通し　ピアノ演奏 その他：自立に向けて生活動作などのトレーニング・感覚あそび
	認知・行動	様々な環境からの刺激を整理したり、道具の利用を図ることで、本人の活動を支援します。 対人関係を中心とする社会生活技能のほか、疾病の自己管理技能や、人が社会で他の人と関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身につけます。	ビジョントレーニングなど体と感覚を整える活動　シルエット クイズ、聞く見る動くゲーム、的当て 身体図式　くぐるゲーム SST（カードゲーム、場面ごとの討議） 将来を考える人生プランニング　/　お金と計算 社会を知る　お出かけ企画（企画準備振り返り） 学習につながる活動　漢字　粘土　迷路　記憶 クッキング：計画、買い物、実践
	言語 コミュニケーション	周囲の人の言葉かけの方法や接し方などを工夫することで、本人が過ごし易くなるように支援します。	今日の気持ちの色表現　スケール　お絵かき、言葉とマッチング お話をして表現　学校での出来事 音楽での表現　ピアノ講師による各楽器演奏や歌の活動
	人間関係 社会性	本人に対する理解を深め、発達を促し自己対処能力（エンパワメント）を引き出し、自立を支援します。 適切な時期に小集団の活動に参加し、集団でのコミュニケーションやルールを学びます。	人との距離感を学ぶ　みだしなみ コミュニケーションゲーム（ディベート、トーキングゲーム、謎解きゲーム、出来事を話す、カードゲーム、タギロン、トランプ、人狼）協力型ゲーム（相手と一緒に協働する動きのあるゲーム）

家族支援	ご家庭での様子を聞き取り、本児の発達状況や特性を踏まえながら、 子育てについての相談援助を行ないます。 保護者様のお悩みやニーズに合わせて講演会や相談会を実施します。	移行支援	連携会議の中で、事業所で得られる情報の共有や、具体的な支援内容の伝達を行ないます。 本児の発達状況を踏まえながら、各関係機関での支援方向性や役割の確認を行ないます。
地域支援・地域連携	児童館へ遊びに行くなど、地域との交流の機会を設けています。 保育所等訪問やモニタリング会議を通して、情報共有を行い、タイムリーに課題に対応できるよう連携しています。	職員の質の向上	支援前会議で目的、内容、コンディションなどの情報共有、支援後に振り返りと課題抽出ケースを行い、ケースワークを日常的に行っています。年間を通して内部、外部での研修も実施しています。
主な行事等	長期休みの際は、子どもたちで計画を立て、お互いの希望を確認する会議を行って目的を明確化した上で、準備段階での様々な学習を行い、外出の際に得られる、外でのふるまいや、ルールを学び経験を積めるような「おでかけ企画」を行っています。 年間何回か保護者会を行い、現在の状況や課題の共有、捉えなおしなど行っています。		